

教育委員会会議録（8月定例会）

日 時

令和6年8月29日（木）
午後2時30分から午後3時17分まで

場 所

日立市役所 304・305号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	朝日 華子
委 員	上村 由美
委 員	小野 智久

委員以外の出席者

教育部長	宮内 雅弘
理事	窪田 康德
総務課長	作山 直弘
総務課課長	高橋美奈子
学校施設課長	高瀬 稔
学務課長	北見 裕
学務課課長	富岡 道雄
学校再編課長	酒地 康彦
学校再編課課長	鈴木 康世
生涯学習課副参事（兼）係長	小林 克敏
スポーツ振興課長	玉置 伸一
スポーツ振興課課長	市原 慎也
指導課長	青木 房子
指導課課長	佐川 正城
記念図書館長	鈴木 弘嗣
郷土博物館長	島崎 信彦
北部学校給食共同調理場長	根田 容子
教育研究所長	諸橋 正和
総務課課長補佐（兼）庶務係長	塙 智光
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	西野 晃平
総務課係長	澤田 貴子
総務課主事	上遠野 宰

議 事

報 告

報告第 8 号 教育委員会 7 月定例会の会議録について

議 案

議案第 37 号 令和 6 年度教育委員会 9 月補正予算の提案について

議案第 38 号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の作成について

議案第 39 号 専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）

その他

- (1) 桐生市臨海子ども会及び桐生市・日立市子ども会リーダー交歓研修会の実施結果について
- (2) 日立市二十歳の祝いの実施について

会議の概要

1 開 会

教 育 長 ただ今から、教育委員会 8 月定例会を開会します。

 本日は、傍聴希望者が 4 名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

2 報 告

報 告 第 8 号 教育委員会 7 月定例会の会議録について

教 育 長 まず、報告第 8 号について、御意見等はございませんか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 3 7 号 令和 6 年度教育委員会 9 月補正予算の提案について

教 育 長 続いて、議事に移ります。
議案第 3 7 号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 令和 6 年度教育委員会 9 月補正予算について、提案するもので
す。

 9 月補正予算額です。歳入につきましては、補正額 3 8 万 7 千円
を増額し、補正後の額を 2 2 億 3, 8 1 9 万 8 千円とするもので
す。

 歳出につきましては、補正額 8 8 9 万 4 千円を増額し、補正後の
額を 8 5 億 3, 8 5 6 万 7 千円とするものです。

 次に、補正内容について御説明いたします。

 No 1、事業名等、市税等過誤納還付金 8 1 6 万 5 千円の増額で
す。国庫補助事業である「子ども・子育て支援交付金」及び「保育
対策総合支援事業費補助金」について、令和 5 年度の放課後児童ク
ラブ分の精算に伴う超過交付金の返還に要する経費です。当該交
付金等については、当初 1 億 1, 8 8 7 万 3 千円の交付を受けてお
りましたが、令和 5 年度分の確定額が 1 億 3 7 0 万 8 千円となり、

差額を返還するものです。

No2、教育振興経費は、子どもたちの教育のために活用することを目的に、市民から頂いた寄附金5万円を、未来をひらく子ども教育基金に積み立てるための補正となります。

No3、関連歳入として、大みか小創立30周年記念事業タイムカプセル実行委員会様から頂きました寄附金5万円を計上しております。

No4、教育相談事業費は、不登校、学習支援のための少人数指導教員に係る人件費67万9千円を増額するものです。

No5、関連歳入として、財源となる県支出金33万7千円を計上するものです。

委員 No4、会計年度任用職員（少人数指導教員）は、何名分なのか、また、どの学校に配置されるのか教えていただきたいです

教育研究所長 少人数指導教員は1名で、場所は大久保中学校です。

教育長 それでは、議案第37号について、可決することによろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 議案第37号については、原案可決と決しました。

議案第38号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の作成について

教育長 次に、議案第38号について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書を議会に提出、公表するため、作成するものです。

点検及び評価の概要のうち、星、小野瀬、福地委員の3人の点検評価委員からの外部評価について御説明いたします。

なお、御意見を頂くに当たりましては、事務局からの内部評価の説明及び点検評価委員と教育長との意見交換を経ております。

まず、「確かな学力の育成」です。点検評価委員から、情報活用能力の育成について、「ICT支援員による業務支援により、学校の負担軽減につながったことを評価したい。ICT活用実績として、9割の学級で週3回以上活用されているとのことなので、学

校、先生方にICT教育が浸透してきているのではないかと感じている。さらなる普及を進めてほしい」との御意見を頂きました。

また、「英語教育の充実」については、「令和4、5年度のハワイの大学への教員派遣や外国語指導助手の全校配置など、様々な取組によって、英語学習への興味・関心を大いに高めることができたと考えている」などの御意見を頂きました。

「教育環境の向上」では、学習環境の整備・充実について、「学校再編については、地域コミュニティから消極的な意見もあり、進めていくのが難しいというところもあると認識している。しかし、複数クラスがあり、部活動もある程度できる環境を作ることは、子どもたちのことを考えると必要だと思う」との御意見を頂きました。

また、教職員の働き方改革について、「休日の部活動地域移行については、地元少年団頼みだと厳しいと感じている。少年団の管理者や少年団の置かれた環境により、かなり温度差があるように思われる。部活動指導員、地域エキスパートの活用は評価できるが、さらなる外部人材の掘り起こしを期待する。スピード感を持って実行していくことが、子どもたちの部活の質の向上、教師の負担軽減、保護者の不安解消につながると思う」などの御意見を頂きました。

「放課後や休日の活動環境の充実」では、放課後児童対策の推進について、「児童クラブを開設している全ての学校が、放課後子ども教室を実施する体制となったことは素晴らしいと思う」との評価を、また、子どもの地域活動への参加推進について、「ひたちっ子わくわくイングリッシュ等のような本市の特色ある取組によって、子どもたちの英語への興味・関心や食育の推進を図れたことは素晴らしいことであり、関係各位の御尽力に対して大いに敬意を表するものである」との評価を頂きました。

「文化財の活用」では、「文化財回廊コースウォーキングの実施や日立風流物収蔵施設の計画など、積極的に文化財保存、活用に向き合っていると思う。今後も文化財を広く多くの方に知っていただけるように、多方面に考えていただきたい。また、インフルエンサーの活用も検討していただくとともに、各イベントの参加者や施設来場者の満足度、改善点やニーズ調査も行い、それを基により良い活動にしてほしい」といった御意見を頂きました。

「スポーツの振興」では、「フルマラソンは全国的にも人気があり、日立市の場合、バイパスを走ることができる非常に魅力的なコースだと感じている。各所連携、一丸となって、日立の食、特産品、観光、宿泊、広報と横のつながりを作っていくことが、フルマラソンという事業のパフォーマンスを高め、まちの活性化に寄与すると思う。日立の魅力存分に味わうことのできるイベントにしてほしい」などの御意見を頂きました。

「未来を拓く力を育む学校教育」では、教育環境の充実と保護者の教育費負担軽減に関する取組について、「電子黒板を有効に活用できるように、有効な活用事例の共有など教師の研修も合わせてお願いしたい」、また、「学校給食費の無償化は、保護者にとって大変助かる施策で感謝している」などの評価を頂きました。

「生きがいや喜びを見出す生涯学習」では、キャリア教育の推進について、「職業探検少年団などの活動を通して、将来的に日立市で活動していく子どもの育成にも取り組む必要があるのではないか。一度、市外に出た子どもにも戻りたいと思わせるキャリア教育が必要である」などの御意見を頂きました。

「健康と活力を生み出すスポーツ」では、池の川さくらアリーナの活用推進について、「Bリーグ、Vリーグの誘致は子どもたち、広く市民にプロスポーツを知ってもらう良い機会になると思う。引き続き、多様なスポーツ大会の誘致をお願いしたい。その反面、市民が使用できなくなるという事象も把握されているので、より良い運営方法を、他の自治体の活用事例なども参考にしながら改善していただきたい」などの御意見を頂きました。

続きまして、報告書全体に対する御意見です。

まず、星委員の御意見です。

「今年度に全ての学校の普通教室に電子黒板の設置が完了し、より一層ICT活用の推進が図れたことは素晴らしい。また、教員の指導力を高めるために海外大学への派遣や他県での宿泊研修などを進める一方で、外国語指導助手の全校配置や通訳ボランティアによる外国人児童生徒への支援等々、確かな学力を育成するために、様々な視点から取り組んでいることは大いに評価できる」、また、「教育とは、一人一人の子どもに寄り添ったものという大原則は変わらない。若い先生が、教師を目指した原点を常に自覚する日立市の学校であってほしいと願う」との御意見をいただきました。

次に、小野瀬委員です。

「確かな学力の育成では、基礎・基本の定着が施策の目標となっているが、よく分かる割合が減少している。これから対面授業の長所を活かし、一人一人の理解度や特性を見極め、個に応じた指導を期待する」、また、「「ひたちらしさ」を活かした取組では、ランドセル配布だけではなく、日立理科クラブ等市内の各種団体の支援、未来パスポートの配布、さらにキャリア教育でもある職業探検少年団などの活動を通して、将来日立市で活躍してくれる子どもたちの育成にも結びつくことを期待する。また、ひたち生き生き百年塾などの活用を通して、一生涯学び続けられる活動拠点の充実を図ってもらいたいと同時に、特色ある事業が高齢化などを理由に消滅することのないよう継続してほしい」との御意見を頂きました。

最後に、福地委員からは、「教育費負担軽減に関する取組は、学校給食費の無償化は物価高の折、保護者の負担軽減に直結する良策である。ランドセルの無償配布は特筆すべき点で、次年度以降、時代に合わせた色、カタチ、機能が改善されて配布されるのは素晴らしい。学校再編については、難しい問題も多々あると思うが、複数のクラスがあり、部活動もある程度可能な環境は必要だと考える。子どもたちを最優先に考え再編を進めてほしい」、また、「今年開催予定のフルマラソンは、各課連携して取り組んでもらいたいプロジェクトである。子どもたちがボランティア等に関わることにより、事業を自分事として捉えることができ、日立市への誇りにつながると思う」との御意見を頂きました。

今回、点検評価委員から頂きました御意見を踏まえ、今後の事業にフィードバックしながら、引き続き、本市の教育行政の推進に努めていきたいと考えております。

委 員 教育委員会の努力がしっかり評価されていて良いと思います。
日立市に住んでもらうことを考えれば、日立の良さや日立市への誇りを、子どもたちに持ってもらうことが大事だと思いますので、そういった活動を教育につなげてもらえればと思います。

委 員 キャリア教育の推進について、職探ノートを利用されていると思いますが、子どもたちが実際に使ってみた感想と職探ノートの活用は、1回のみなのか、継続して使われているものなのか、教えていただきたいです。
また、「ひたちらしさ」を具体的に教えていただきたいです。

教 育 部 長 職探ノートについてですが、冒頭に自分の目標を掲げています。
また、御家庭のお父様、お母様、御家族の方の協力を求めるようなノートになっています。活動をしましたら、自分の感想を書くということと、家族と話し合う機会に利用していただくというような望みも掲げております。

そして、1年間でノートが自分の活動でいっぱいになったところを、最後にもう一度顧みて、御家族と話し合って、自分がどれだけパワーアップしたかというようなことを学んでいただけるノートになっております。

実際に、学年の低い子どもたちは、なかなか書けないのですが、高学年の子どもたちに有効に使っていただけていると聞いております。

また、「ひたちらしさ」についてですが、一言で表せるものではなく、日立市の自慢をできたり、日立市ならではのどこにでもあるものに、一工夫を加えたものを「ひたちらしさ」という風に捉えて、この職業探検少年団で言えば、漁業・農業・林業があり、一方で、

「ひたらしさ」のものづくりであったり、報道があるなどの多岐に渡る幅の広い職業を体験できるという「ひたらしさ」が、職業探検少年団で利用していただけているものと考えております。

委員 「ひたらしさ」に関連することですが、大人や子どもに対して、日立市を知ってもらえるような広報活動を重点的にやってもらいたいと思います。

委員 ICT関係で普及が進んでいる話で評価されていましたが、物的なものの普及と並行して、使う側の人間力や道徳力も育成していただければと思います。

また、部活動地域移行がテーマとして取り上げられていましたが、教員のなり手が不足してきていることなどの目的を発信して、父母の意識も変えていくような流れが必要なのではないかと思います。

委員 たくさん子どもたちがいろんなことを経験できるようなことを、学校なりに組み込んでいただきたいと思いました。

部活動に関しては、質の高い指導を、いかに保証するのかを考えた方が良いでしょう。

目標と目標に至るまでの手段を話し合っ、子どもたちを迎える準備、子どもたちと一緒に活動していく準備を整えると良いでしょう。

教育長 それでは、議案第38号について、可決することよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 議案第38号については、原案可決と決しました。

議案第39号 専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）

教育長 次に、議案第39号について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 損害賠償の額を定めるに当たり、教育委員会を開催する時間的余裕がなかったことから、令和6年8月20日付で専決処分をしたものです。

その内容でございますが、令和6年7月22日午前8時50分頃、日立市末広町の県道の路上において、顧問立会の下で行っていた部活動中に、生徒が打った野球ボールが防球ネットを越え、信

号待ちのため停車していた自動車のフロントガラスに直撃させ、物損を与えたため、この損害に対する賠償の額を22万5,610円と定めたものです。

この度は、誠に申し訳ございませんでした。

委員 今後の防止策について具体的に教えていただきたいです。
また、被害者の被害状況についても伺いたいです。

学務課長 通常の練習では、両サイドに防球ネットがあり、さらに高さ12メートルのバックネットがある状況で練習をしておりますので、普段の状況の練習であれば、防球ネットやバックネットを越えて県道にボールが飛んでしまうという事はあり得ません。

しかしながら、普段は、サッカー部と陸上部と一緒にグラウンドで練習しているところ、今回については、夏季休業に入り、他の部活動がなかったため、ネットから離れて打ったことにより、今回の事故が発生してしまったもので、学務課として学校を訪問しまして、ネットを超えない状況で練習をしていただくよう指導をまいりました。

また、被害状況ですが、フロントガラスにひびが入っただけで、運転手の方に怪我等はありませんでした。

委員 部活動に関する事故に関わらず、教育委員会として安全対策と注意喚起をよろしく願いいたします。

教育長 それでは、議案第39号について、可決することよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 議案第39号については、原案可決と決しました。

4 その他

(1) 桐生市臨海子ども会及び桐生市・日立市子ども会リーダー交歓研修会の実施結果について

教育長 続いて、その他に移ります。
その他(1)について、生涯学習課から説明をお願いします。

生涯学習課 第67回桐生市臨海子ども会につきましては、7月27日土曜日から29日月曜日まで、1泊2日の2団編成で開催されました。
参加者は、計332人で、桐生市の子どもたちや育成会会員が、

河原子の海水浴場に滞在し、日立市の海を満喫していただきました。

7月28日の早朝には、河原子学区コミュニティが同学区の児童生徒、地域住民と実施するラジオ体操に参加いたしまして、河原子の方との交流を深めました。

次に、第52回桐生市・日立市子ども会リーダー交歓研修会につきましては、8月3日土曜日から4日日曜日までの1泊2日で、本市からは、子ども会リーダーや中学生リーダー、子ども会育成連合会役員など、計37人が参加をいたしました。

主な交流内容といたしましては、桐生市子ども会育成団体連絡協議会の御協力の下、八木節踊りの練習をいたしまして、桐生八木節まつり「子ども大会」に参加いたしました。

また、夜は宿泊先の青少年野外活動センターで交流を図りました。

委 員 桐生市子ども会リーダーズクラブの参加状況と日立市ヤングリーダーズクラブの参加状況について、分かれば教えていただきたいです。

また、去年や一昨年と比較して、桐生市子ども会リーダーズクラブの会員数の変化に対する印象はどうでしょうか。

生涯学習課 今回の日立市ヤングリーダーズクラブの参加者は4人となっております。

桐生市子ども会リーダーズクラブの参加者については、把握していない状況でございます。

また、桐生市子ども会リーダーズクラブの会員数については、僅かながら減っている印象を持っております。

(2) 日立市二十歳の祝いの実施について

教 育 長 次に、その他(2)について、生涯学習課から説明をお願いします。

生涯学習課 趣旨は、二十歳という人生の節目を祝うとともに、人生を切り拓いていく青年たちを励ます機会とする記念式典を実施するもので、実施日は、令和7年1月12日の日曜日でございます。

会場は、日立市池の川さくらアリーナ、対象者は、約1,600人となります。

実施方法といたしましては、会場及び周辺道路の混雑緩和を図るため、前年度同様に2部制で実施するものでございます。

当日の参加見込者数は、例年の出席率から、おおむね8割程度の約1,300人を見込んでおります。

式典の実施体制等につきましては、出身中学校からの推薦と公

募による対象者29人で構成される、日立市二十歳の祝い実行委員会が、記念式典等の企画立案及び運営等を行うものでございます。

実施内容は、記念式典後に記念撮影を行う予定でございますが、当日のアトラクションなど事業の詳細につきましては、9月から開催される実行委員会にて企画検討を行いますので、内容が決まり次第、改めて御説明をいたします。

(6) その他

教 育 長 そのほか、案件はありますか。

郷土博物館長 特別展示「庄屋・関右馬允が向き合った日立の600年」について、御説明いたします。

今回の特別展示につきましては、現在の日立市入四間町において、中世から近現代にいたるまで、約600年の間、指導的な役割を果たした関家の歩みと、入四間・日立地方の歴史をたどり、また、日立鉱山の煙害問題の解決に奔走し、小説「ある町の高い煙突」の主人公のモデルとなった、関家第15代右馬允の活躍とその背景等について展示いたします

開催期間は、9月21日から11月4日までとなります。

会場は、郷土博物館2階特別展示室でございます

主な展示内容といたしましては、関家所蔵の「伊達政宗書状」や、15代右馬允が好んで撮影した茨城県内の巨樹の写真、市内の産業や人々の暮らしの写真などがあります。

美術資料としましては、関家が交流のあった作家の日本画掛け軸などがあります。

関連催事につきましては、展示内容に関連した講座や展示場での解説を、合計3回、博物館で実施いたします。

これらの参加については、事前の申込みが必要となり、9月13日午前9時から郷土博物館へ電話で御連絡を頂くこととなります。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総 務 課 長 令和6年9月26日(木)午後1時30分から、日立市役所3階304・305号会議室で開催予定です。

6 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会 8 月定例会を終了いたします。

以 上